新時代 ~創ろう僕らの物語~ 陵東祭 10月22日(土)

今年度も授業で歌うことが思うようにできず、合唱コンクールが開催できるかどうかについても検討しました。そのような状況の中で、各クラスとも練習の仕方を工夫し、限られた時間でどのクラスとも自分たちらしい合唱を創り上げることができました。今回は本番の合唱が市文化センターでの発表となり、緊張の中でのコンクールでした。3年生による少人数合唱、各クラスの合唱発表、そして開閉祭式と充実した、中身の濃い陵東祭でした。準備・運営に携わってくれた実行委員のみなさん、ありがとうございました。 保護者の皆様には、動画配信での発表となりましたが、ご理解ご協力をいただきましてありがとうございました。



1学年

	合唱曲	指揮者	伴奏者	
1組	旅立ちの時~Asian Dream Song~	芳賀 詩音	佐藤 心結	
2組	キミのもとへ・・・	日下部 翔	角川 夢茉	
3組	My Own Road-僕が創る明日-	伊藤 駿太	小野舞衣子	
4組	マイ・バラード	佐藤 瑛太	佐藤 結花	
日周子尚 コノ パニ ド 周子尚 Vo D 1 エンゼトト 尚 世加士立 パマニュー尚 「昭年ナフ				

最優秀賞:マイ・バラード 優秀賞: My Own Road コンダクター賞: 芳賀詩音 ピアニスト賞: 小野舞衣子

2学年

	合唱曲	指揮者	伴奏者
1組	生きている証	齋藤 結生	佐藤 千草
2組	あなたへ	武田 芯哉	髙砂 都子
	-旅立ちに寄せるメッセージ-		
3組	時の旅人	鏡 龍翔	大石 彩生
4組	手のひらをかざして	安孫子夢果	大久保柚歩
	н	•	

最優秀賞:手のひらをかざして 優秀賞:時の旅人 コンダクター賞:齋藤結生 ピアニスト賞:髙砂都子

3学年

	合唱曲	指揮者	伴奏者	
1組	響き合う命	東海林倖那	片桐 夏凜	
2組	十字架の島	守 進太朗	大沼 心和	
3組	地球誕生	篠田ひなの	小坂 葉音	
4組	決意	安孫子誠二	東海林美空	
長原丞常・十字加の良 原丞常・郷き合う会 コンダカター常・字准士郎 ピアーフト常・士辺心和				

今回の陵東祭では、練習と本番で学んだことがあり、よい経験になりました。

練習での発見は、周りを見ることです。1年生の時の陵東祭では自分がうまくなることだけを考え、周りを見ることはできませんでした。 今回はその経験を生かし、練習中に音程や声量の注意をすることができ、みんなで作るいい合唱ができました。本番での発見はチームワークの大切さです。当日は全員が緊張していて、いい合唱ができるか心配でした。そんな時にパートリーダーの人たちが声をかけてくれたので、だんだんと空気もよくなり、声をしっかり出した合唱ができました。

今回は残念ながら全体での賞はとれなかったけれど、来年につながるいい合唱ができました。

2年 大江 結人

陵東祭に向けて合唱曲が決まり、練習が始まると私はソプラノのパートリーダーになりました。最初はみんななかなか声が出ず、どうしたらみんなの声が出るのかとても悩みました。そこで、ふたりがまず自分から声を出して見本になれるようにがんばることを決めました。練習していくうちに自分の声も他の人の声も出るようになってきて、合唱を楽しめるようになりました。そこで初めて全体で合わせた日。まだ音程がとれていなく、声も出なかった男声に不安になりました。それから指揮者からアドバイスをもらったり、パートリーダーが積極的に思ったことを発言したりするとクラス全体の合唱に対する気持ちに変化が見られ、一生懸命練習するようになりました。どんどん合唱としてよくなって、毎日歌うのが楽しみでした。そして、陵東祭当日。みんなが緊張していました。声出しの時には、集中して歌うみんなの様子を見て、とても楽しみになったのと同時に最優秀賞をとりたいと強く感じました。いよいよ本番、指揮が始まると緊張が減りました。(中略)今までみんなで悩みながら練習したことを振り返ると、悔しい気持ちでいっぱいでした。私は陵東祭を通じて深まった「絆」をこれからも大切にしたいと思います。









ぼくのクラスは、陵東祭で「十字架の島」という曲を歌いました。曲を決めるとき、この曲は歌いたくないと思っていました。「血ふぶき」や「死んでいった」などの言葉が目立ったからです。だから練習していてもあまり気持ちが入りませんでした。毎日練習を続けて歌詞を覚えて音程もほとんど合ってきた頃に、授業で「沈黙」というキリシタンや踏み絵の映画を見ました。その内容は、自分のクラスが歌う曲の歌詞のマイナスの部分がより強調されたような映画で、キリシタンがひどい拷問を受けて死んでいく様子が描かれていました。この映画を見て、僕はこの曲を歌うことに使命感を感じました。

その後は歌詞一つ一つの場面を考えて強弱を工夫したり歌詞がはっきり相手に伝わるようにしたりして練習しました。本番では、今までの練習でしてきたことをすべて意識して歌うことができました。結果は、最優秀賞をとることができました。 この中学校生活最後の陵東祭は、僕にとって最高の思い出になりました。

3年 菅井 大知